



おおいそ

議会だより

第138号

2007年(平成19年)1月26日発行



ここは何処? (答えは裏表紙に)

12月定例会

75歳以上の老人保健 大幅に変更

2P

町政のここが聞きたい 一般質問

4P

陳情審査と議会のうごき

11P

びと
輝いてます大磯人

12P

発行／大磯町議会 編集／議会だより編集委員会

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183 TEL 0463-61-4100 (内線281) FAX 0463-61-1991

ホームページアドレス <http://www.town.oiso.kanagawa.jp/> メールアドレス gikai@town.oiso.kanagawa.jp

12月定例会

12月議会は、三好新町長を迎えて、18日から25日までの8日間の日程で行った。町から提出された議案は8件で、条例改正や補正予算などである。

そのうち、後期高齢者医療広域連合の規約は、福祉文教常任委員会に付託した。

審議の結果、すべての議案は賛成多数で可決した。

一般質問は13名が35問を行い、新町長の考え方をただした。

陳情は3件を審査し、すべて趣旨採択と決した。

なお、初日に新町長から就任のあいさつがあった。（11頁要約掲載）

75歳以上の老人保健 大幅に変更

反対討論

本会議・委員会の主な質疑

問 年金年額18万円以下の方が月額6千200円を天引きされると、生活はどうなるか。また、町独自の軽減措置は考えるのか。

自治体負担の医療費が大都市と大磯町とで従前と同じ負担割合であるのが、納得いかない。

被保険者割と人口割にして、大都市の負担を増やす

てもらうことが真の県下における高齢者医療の平等につながるのではないか。特に横浜市の準備会担当者は、その旨の発言をしていた。

全く理解できない。

問 すでに12月18日の補正予算で120万5千円が計上されているが、これ以外の負担は。

広域連合の設置は、法に規定されたものである。

共通経費の均等割負担など

の問題はあるが、町長が広域連合運営協議会で、大磯町の実情をしつかり訴えていたことを要請して、賛成する。

問 75歳以上の方の保険料を取り扱う神奈川県後期高齢者医療広域連合の設立の規約の議案が提案された。

広域連合の設置は、法に規定されたものである。

問 75歳以上の方の保険料を取

り扱う神奈川県後期高齢者医療広域連合の設立の規約の議案が提案された。

賛成討論

賛成討論

18年度補正予算



◆住民票の閲覧が制限される

だれでも住民票の一部の写しの閲覧ができたものが廃止され、次の2項に限定された。

- ① 国や地方公共団体が、仕事を行うなかで公益性が高いと認められる場合の閲覧。
- ② 世論調査、学術調査などの公益性が高いと認められる活動を行うための閲覧で、市町村長が必要と認める場合。

◆町職員退職手当組合の規約変更

津久井郡の城山町・藤野町が相模原市と合併するので県市町村職員退職手当組合の2団体が減少する。これに伴う規約改正。収入役廃止など経費削減も含まれる。当組合は県内の市町村等23団体になる。

一般会計

► 国民健康保険事業特別会計繰出金

8,380万円増

► 東小磯2号線改良事業

800万円増

► 月京9号線整備事業

1,117万円増

老人保健特別会計

► 神奈川県後期高齢者医療広域連合分担金

120万円増

一般会計に1億479万5千円を追加し、予算総額を80億9,082万4千円とした。

4特別会計補正予算も提案され、採決の結果、いずれも賛成多数で可決した。

問

東小磯2号線の改良工事は、なぜ当初予算で見込めなかつたか。長期的なビジョンを持って進めるべきではなかつたか。

当初は高田公園南側の側溝に接続し排水できると予測していたが、民地に係る部分の接続が困難なため別ルートに変更した。近隣住民の要望もあり、やむを得ず変更することになった。

主な質疑

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）															結果		
		百瀬恵美子	奥津勝子	土橋秀雄	山田喜一	吉川重雄	清水弘子	鈴木京子	坂田よう子	高橋英俊	柴山賢一	大坂聖子	浅輪いつ子	山口陽一	柴崎茂	高橋正克	渡辺順子	竹内恵美子	
57	大磯町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可決
58	神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
59	神奈川県後期高齢者医療広域連合の規約について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
60	一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
61	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
62	老人保健特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
63	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
64	下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、12月21・22日に
13人の議員から35問ありました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

【文責は本人】



(仮称) 国府新宿東西線付近

国府の時代は本当に来るのか

積極的に、実感できる事業を

土橋 秀雄

三好町長の公約に「今までできなかった西部地区の整備を強力に推進します。」とある。「西部の時代が実感できる町づくり」とある。具体的な事柄を挙げて説明を。

町長 西部地区は、生活道路・排水関係の整備を急が

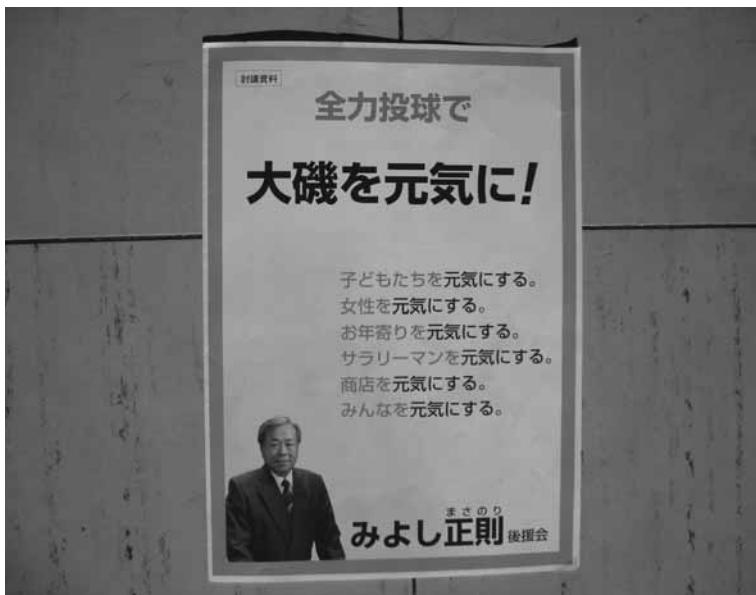
なければならない地区もあります。支所や小・中学校、幼稚園、金融機関、スーパー、マーケット、東海大学大磯病院等もあり、町民にとってかけがえのない更に充実した施設作りのため積極的に対応し、

東海大病院の拡充については継続して推進したい。小回りのきいた町づくりに欠かせない「地域循環バス」いわゆる「ミニユニティーバス」の運行を目指し検討、「西部地区の時代」といわれるよう実績を作つて積極的に対応していく。

問 第四次総合計画に主要幹線道路（仮称）国府新宿東西線道路等「生活道路の整備を図ります」と書かれている。

町長 （仮称）藤沢大磯線は今年度ルートの検討を進めており推進。

都市整備部長 国府新宿東西線は、第四次総合計画のなかでは「ルートの策定」という形で位置付けられており、今後、大磯町まで都市計画が決定されている二宮町と連携を深め、情報交換を重ね、整備に向けて早く具体化できるように調整を図っていきたい。



討議資料

町長 元気の源は滄浪閣に
たためにはどのように。
町長 元気の源は滄浪閣に
していきたい。

町長 できるだけ早く実施
していきたい。

町長 一部民営化してもい
いのではないか。

町長 教育委員会で検討会
等を開催している。できる
だけ早い時期に移転したほ
うがいいのではないか。教
育委員会と協議をさせてい
ただきながら進めていく。

町長 公有地拡大法に基づ
く届け出が出されており、
買取をしないとマンション
建設が進んでしまうので買
取したい旨の申出書を県に
提出。資金面はあらゆる方
策を検討していく。

町長 古い体質から脱却し、
町役場は変わっていかなければ
ならないのでは。
町長 大磯町を元気にしてい
くためにはどのように。

町長 西部地区の整備を推進
とありますが、公共下水道
が未整備ですが。

町長 できるだけ早く実施
していきたい。

町長 地域循環バスの運行は。
園の維持をするとあります
たが、小磯幼稚園は民営化
を推し進めるとあったが。

町長 幼稚園4園、保育園2
園の維持をするとあります
たが、小磯幼稚園は民営化
を推し進めるとあったが。

町長 東海大学病院の拡張計
画による月京幼稚園の移転
問題の考えは。

町長 教育委員会で検討会
等を開催している。できる
だけ早い時期に移転したほ
うがいいのではないか。教
育委員会と協議をさせてい
ただきながら進めていく。

町長 滄浪閣を買取とありま
すが、具体的な方法は。

町を今後元氣にしていくためには

竹内恵美子

滄浪閣を文化の拠点作りに

子ども施策一元化組織が必要では ぜひやってみたい

大坂 聖子



教育委員会

町長 三好町長が町民福祉部
長時代、次世代協議会の席
上、何人かの委員さんから
全児童対象の放課後事業を
なぜ計画の中に盛り込めな
いのかという質問が出てい
た。「施設利用に関する学
校関係からは厳しい意見が
出ている」と、非常に困っ
た様子の答弁をされていた
と記憶している。当時の心
境と現在の心境とで変化は
あるか。

町長 当時学校の居場所作
りについて、学校当局と意
見がなかなか合わなかつた。
今後、学校当局にもお願ひ
することになるが、学童保
育も含め全児童対象の学校
開放、放課後の居場所作り
やつてみたい。

町長 次世代育成支援地域
行動計画を作っているなか
で、学童保育の施設、ある
いは学校開放の施設等検討
しているなかで非常にその
へんを強く感じた部分があ
った。ゼロ歳児から中学校卒
業までの部分を一つの課で
全部通して行えるような組
織をここで作りたいと考え
ている。住民側にとつては、
すべて一つの課で済むとい
う便利さがあるので、ぜひ

滄浪閣の現状はどうなっているか 有識者会議で検討したい

山口 陽一



滄浪閣

問 滄浪閣については多くの町民が関心をもっている。買い取り価格は当初は20億円程度と予想されていたが、入札での落札金額は40億円程度だったとの噂もある。

町長 相当な金額のため慎重な検討が必要だ。県や国にも協力を働きかけることも大切だ。

問 買い取りについては有識者会議を早急に発足して検討するとともに、大磯町だけでは難しいのでその辺も視野にいれた方策を考えたい。

問 公約に助役・収入役の廃止だけでなく部長職も廃止して人件費を削減すると

町長 2名の補佐官が有機

問 買い取りについても、組織で2名も必要なのか。補佐官2名の人事費が助役の給料を上回って人件費の増額になってしまうだけでなく、補佐官の間での権力争いや庁内担当の情報が外部に伝わりにくくなる縦割り行政の弊害が大きくなることも考えられる。

総務部長 公募型の補助金

的に機能するようにしたい。

問 新町長は、民活利用の実行、民・公で出来るものとの分業をしっかり見極めたい、また、組織と人事の改革に手を付けたいと言われた。その手法の一つとして、町事業の必要性や担い手は官か民間かを外部からの評価を受け、公開の場で検討する、事業仕分け作業を提案するが。

町長 助役を廃止するに伴ない補佐官を2名任命して組織を円滑に運用したい。

問 大磯町のような小さな組織で2名も必要なのか。

町長 選挙公約のなかに、民で出来るものは民で、とその精査を行いたい旨、載せてある。役所が担うべき仕事かどうか、精査するシステムによって事業仕分けをしたい。

問 民間非営利の政策シンクタンク『構想日本』の協力で行うわけだが、今までの事業評価は内部評価のみで、前例踏襲の域を出ない切りにいく補助金は。

総務部長 公募型の補助金は、行革委員2名入れ、見直しをした。外部評価と判断し、充実させ継続性を持

行財政改革を事業仕分けで推進は

精査し、事業仕分けをしたい

奥津 勝子

たせ行っていく。

問 準備の検討委員会は。**企画担当参事** 事業評価は内部評価で行って来たが、行き詰った部分もある。**企画担当参事** 事業評価は『構想日本』で行った他所の外部評価の効果を見て、また、600余りある事業の絞

り込みも研究していく。

問 役場の機構が利用しつらい不便さがあるが。**企画担当参事** 地域協働課の相談業務量、窓口再編も考**企画担当参事** 住民本位の機構を。

滋賀県高島市事業仕分け風景

公約の具体化は

斜面地条例は3月議会で上程

浅輪いつ子



代官山

問 「斜面地条例で大磯の緑の財産を守る」とあるが、町民や行政が必要として12月議会へ提案が予定され、なぜ提出しなかったのか。

す、斜面地条例は積極的にやっていくつもりだ。

問 今後、この条例をどうするつもりか。

町長 3月議会で上程して

町民活動のサポートセンター整備を

山田 喜一

町長 説明を受け、緑や景観を次世代につなげるものか検証し上程したいと考えたので。

問 制定の背景を聞いているか。

町長 細かい説明は受けてない。なにも知らない。

問 「これを実現します。」と書いておいて、わからなことはどういうことなのか。

町長 状況がわからないといつ意味だ。マニフェストに書いたとおり、とりあえ

町長 説明を受け、緑や景観を次世代につなげるものか検証し上程したいと考えたので。

問 制定の背景を聞いているか。

町長 細かい説明は受けてない。なにも知らない。

問 「これを実現します。」と書いておいて、わからなことはどういうことなのか。

町長 状況がわからないといつ意味だ。マニフェストに書いたとおり、とりあえ

ず、斜面地条例は積極的にやっていくつもりだ。

問 今後、この条例をどうするつもりか。

町長 3月議会で上程して

問 「毅然とした条例」とは具体的にどういう内容か。

町長 強い意思を表わした。「環境保全のために」ごみ問題のどういうことを大事にする考え方か。

町長 ごみ問題は環境問題トイコールと考える。ごみ減量に向けた具体策3R運動を徹底的に実施する。

町長 ボランティアの方の協力は大変ありがたい。

問 「毅然とした条例」とは具体的にどういう内容か。

町長 強い意思を表わした。「環境保全のために」ごみ問題のどういうことを大事にする考え方か。

町長 ごみ問題は環境問題トイコールと考える。ごみ減量に向けた具体策3R運動を徹底的に実施する。

町長 ボランティアの方の協力は大変ありがたい。

問 行革を進めスリムな町組織にするためには、町民参加・協働が不可欠である。そのためには活動できる拠点・サポートセンター整備が必要である。平塚市と二宮町にはある。郵便局や港事務所等の空室活用を含めた努力はできないか。

町長 厳しい町の現状から

町長 町民の絶大な協力をお願いしていかねばならない。拠点は前向きに努力したい。

町長 生涯学習館やふれあい会館などにコピー機や自販機がない。改善できないか。

町長 現状を調べ検討する。

町長 効率的機能を持った行政をどう進めるのか。町行革方針は数値目標や手段・期限などが不明確だ。事業の統廃合や民間委託なども具体的に進んでいない。この現状を改革していくか。

町長 更なる一步前への気構えで踏み込んで進め、進捗状況も把握していく。

町長 節ぶとして説明責任を

町長 など町行政の改革は、組織機構と職員意識改革を同時に進めるべきではないか。

町長 職員に組織改革の目的を周知し納得の上で組織機構改革を進めたい。

町長 議会との関係改善は、

町長 夢の持てる町へ努力。



町民活動サポートセンター（二宮町）

果たしていきたい。

問 幹線道路など都市基盤整備が遅れている。財政厳しくとも滄浪閣活用含め将来のためにメリハリある事

業展開が必要では。

町長 夢の持てる町へ努力。



横溝千鶴子記念障害福祉センター

介護保険などの負担軽減策は

予算配分を考えていきたい

鈴木
京子

間 4月から介護保険料が上がったうえ、制度も変わったため、福祉機器が借りられない、家事援助も減ってしまっている。障害者自立支援ではサービス利用料の一割負担を強いられている。

し、所得が増えないのに町民税は増えて負担が大きくなっている。

このような事態を受け、制度改善の意志はないか伺う。

町長 介護保険に関する町独自の負担軽減策は、町の

厳しい財政状況を勘案したなかで、国の法改正等を注視、今後の検討課題とする。障害者自立支援は負担額が増え、生活を圧迫していると聞き及ぶ。国でも見直しの議論が始まったとのこ

と、慎重に推移を見守る。
個人町民税については、
国会で十分審議がなされた
うえで成立したものと認識。
趣旨を理解いただきたい。

問 政府・与党は世論の調
査とは全く違うことをして
いる。一番元気にしていた
だきたい方への工夫を。病
気で訴えにいく力のない方
もいる。

町長 配慮をする義務があると思う。できるだけそういう場面がつくれるような方策を考えながら、予算配分をしていきたいと思う。
その他の質問 滄浪閣買取等は直接投票で。人事機構改革について。幼稚園保育園民営化について。開発、まちづくりについて。

町政構想「大磯港の再整備」を問う

坂田よう子

私の公約である

問 大磯港は、この町の未来をかけた関心事。県策定の「大磯港活性化整備計画」は、町民の期待に応えたものとなりえるか。

町長 町の活性化、地域振興策と認識している。

問 計画では最終取りまとめが3月と、大変過密なスケジュールですが。

企画担当参事 町が既に策定した「大磯港再整備計画基本構想」に則しての議論であり、調整は可能。

県の予算化は、平成19、
20年度と聞いている。町も
交付金を研究し、21年度の

町長 私の公約でもある。 気合と本気を直接に感じる。「大磯港は計画を中断した事実があり、今度こそは成功させたい。」と国・県等の問 策定委員会からは、ひ、検討していきたい。

協議会」の今後の活動拠点づくりを構想しているか。

問 漁業組合、魚市場等の施設整備を行なうか。
導入は、平成21年度。

問 大磯港の管理体制は、
指定管理者制度となるか。
町長 県が指定管理者の道
入を決定した場合は、大磯

A black and white photograph showing a modern architectural complex. On the left is a two-story building with a flat roof and large windows. A prominent feature is a long, low building with a wide, cantilevered roof supported by several thick white columns. This building appears to be a covered walkway or a large shelter. In the background, there's a body of water with some boats visible. The sky is overcast.

大磯港魚市場

ごみ処理広域化をどう進めるのか

柴崎 茂

検討して慎重に対応したい



環境美化センター内のし尿処理施設

問 ごみ処理広域化は、前

提が1市2町で進めることになっていた。1町が欠けると決まった時点で全体が成立しなくなるというのが私の理解だ。しかし、三沢

前町長は、その後も1市1町で進める旨の発言をされている。そこでこのまま進める場合、大磯町の分担はし尿処理施設だが、一体全体、今、大磯町民の何人分のし尿をどういう形で処理し、また、平塚市のし尿を処理するとしたら何人分を処理しなければならなくなるのか。

環境経済部長 今、トン数しか資料がありません。

問 では、大磯町は何件の

町長 内容をもう少し検討して慎重に対応していきたいと思う。

町長 日常業務のなかで知らなければならぬない数字と思うが。

町長 やはりその辺は、もう一度検討させていただきたい。

し尿を持ち込んでいるのか。

都市整備部長 ちょっと手

持ち資料がございません。

大磯が約1万人分、平

塚が約6万人分だ。ざつと7倍の施設をつくらねばな

らなくなる。あの場所に7倍の施設ができると思うか。

1市1町の今まで、今後、ごみ処理広域化をどう進め

るのか。

更に入札制度見直すべきではないか

吉川 重雄

「ごもっともだ改革は止めない

問 行財政改革という点から、また、町財政の厳しい状況のなかで、さらに入札制度の見直しは必要であると思うがいかがか。これまで一般質問を通して入札制度について改善すべきである税金の無駄遣いはないかと尋ねてきた。最近では、秦野市において入札妨害といふことで職員と業者が逮捕される事件があった。新聞報道によると逮捕された社長が入札の落札率80~90%はすべて談合であったと記事を読んだところである。

大磯町はどうか調べて見た。昨年度の平均落札率は95%であった。驚くべきことに一件100%で落札された業者がいた。この業者は前の町長のところに何度も入り浸っているところを町民に見られている。

三好町長には、きちんと行なって欲しいと思っていました。そこで、現在の入札実態を調べてみました。今、だ入札改革が甘い事実が判



平成18年10月18日朝日新聞

町では電子入札を導入し、平均落札率が88%になつていますと言つていいが、一件一件の工事関係の入札状況を調査してみると、落札率が92・93%以上がごろごろいるのではないか、まだま

明した。さらに実効性のある入札制度改革は、自治体にとって焦眉の急と言えると思うが。

町長 ごもっともだと思う。入札改革はやはり止めるわけにはいかない。

輝いてます

大磯人

ひと

彫刻家 保田 春彦さん（76歳）高麗



在りし日のシルビアさん

「一九九九年の暮れ、私たちの間で終わりが近づいていることは充分感じていた。翌年、春がくると私は長年勤めてきた先で定年を迎える。毎年退任する者が花束をうける光景を目にしてきたが、今度は自分に順番が廻ってくるのかと考えに戻るとき、いまのままの病める妻シルビアであっても、せめてその場にいて私の帰りを待っていてくれたらと思いつづけてきた……」

これは、日本の代表的な現代彫刻家、保田春彦さんの著書「白い風景」（形文社）の書き出しである。シリビア夫人も彫刻家として活躍させていたが、惜しまれ、日本で結婚。8年間のイタリア滞在中、ヨーロッパ各地で

は、画家で彫刻家の保田龍門氏を父に持ち、旧制中学校を卒業後、東京美術学校（現東京芸術大学）の彫刻科に進学。パリに留学中、同じ美術研究所で学ぶイタリア出身のシルビアさんと出会うことに。2年後、二人はローマオリンピックの年（昭和35年）にローマで結婚。8年間のイタリア滞在中、ヨーロッパ各地で



1952年 東京美術学校彫刻科卒業

1958年 フランス政府保護留学生で渡仏

'97年に紫綬褒章受章、'05年に神奈川文化賞受賞

現在、武藏野美術大学名誉教授・同評議員

副議長

百瀬惠美子 熊木博 琴崎英子 柴木茂 喜山重俊 高橋俊一 橋本一 喜田俊雄 山田聖子 大坂順子

議会だより編集委員会

表紙の答

大磯港

3月定例会は2月21日(水)から開催します。

編集後記

12月の定例会は、いつにもまして懐しいものとなつた。「12月定例会」というからには12月中には開催し終了したい。でも、新町長の任期は15日から始まる。

4年前の町長選の時は、例年のように12月1日を初日としたため、任期が15日で終る町長に質問することになった。

定例会を18日から開催したのは、3月の予算議会で実りある審議をするためで、今回初めて取った措置。しかし、そのしわよせは、議会だより編集委員会の年末年始の開催となつた。読みはまだ浅かった。